



414
A 793
3



極秘

條報第九拾八號

明治三十一年七月十三日

左露國

八代海軍中佐

海軍軍令部第三局

264

7-3

一當夏明中南露中重細互西西伯利等巡視ノ爲メ出度レタル連
 信大臣ヒルユーフ侯ハ去六月十日附ヲ以テ土耳其斯坦ヨリ皇帝陛
 下ニ左ノ電報ヲ奉リテリ
 臣ハサマレカンドヨリアンケジアン及ヒタシユケントニ到ル鐵道線路竣工
 地方官權ハ既ニ公団物件並ニ軍隊輸送ヲ開始セルフトラ上聞ニ達ス
 ノ光榮ヲ有ス臣ハ又タ本日より最始ノ急行全通列車ニ駕シタシケント
 ニ到リ停車場ニ近シ義捐金ヲ以テ鐵道受負ニ爲メニ建立セラル可キ寺
 院ノ起礎式ヲ舉行シ臨場ノ諸員臣ニ請フニ陛下ニ無限ノ忠愛ヲ表
 シ合ヒ此ノ土耳其斯坦經濟上ニ至緊ニ要ナル鐵道ヲ賜ハリテ聖



恩對甚深感謝、意ヲ上奏セシメテモリ

皇帝之レニ對シ

此緊要ナル鐵道線路ノ落成ヲ祝ハシテ、各電ヲ發セラレタリ

サマルカレドリアンナレヤン サマルカレドリアンニシテ鐵道成ル

一 去五月三十日約一千々卒ニ曉ニ乘ジテ、土百其斯坦クヘルガ州(コカンド)マルケラーニ郡ノ兵常ヲ襲撃シ、兵負ニナニ名。殺シ拾六名、負傷セシメタルイシアンマホット、アリ、ハリフ及ヒ領袖五名、去六月二十三日、軍律ヲ以テ死刑ニ處セラレ、事鎮靜ニ飯シタリ、此ノ騷擾ハ回教徒ノ狂熱ヨリ、異教徒タル露人ヲ掃攘スルノ時節到來セリト、預言志信シクルニ、樞ルト亦然レ、該地方ヨリ、私信ハ尚オ他ニ原因アリ、第一露官吏ノ惡政治ニ賄賂公行シ、地方小吏ノ收斂人民ヲ苦シムルコト、第二土自古回教本山ヨリ、煽動第三印度境ニアル英人ノ煽動(コレハ信ニ難シ、露人ノ何事ニ及ルカ、難シルノ辭アリ)ニ、樞ルト傳ワシテ、露國ノ宗教ハ自由ヲ以テ、明文ヲ法律ヲ揭

ケテ、カウ内實異教徒ヲ壓迫シ、正教ニ改宗スルコトヲ獎勵スコレ、西歐ノ識者ヲ愚政策トシテ痛罵スルト、フロアレ、先帝治世以來、頻リニ異種族ノ同化國內ノ統一ヲ務メ、アル露政府ノ方ヨリ、視レハ或ハ止ムヲ得サルモノアラシ、然レモ、今回ノ騷擾ニ首領ヲ誅シタルハ、息々不得策ヲラン、何トモハ彼レハ狂熱ノ徒ナリト云ハ、土人中ニ人望アリ、又タ其死ニ臨ミテ、亂シテ靜カニ、コトヲ稱シテ、刑ヲ受ケタリト云ハ、同宗徒間ニハ、道ニ殉スル者トシテ、永ク敬慕サルベケレバ、ナリ、古來宗教熱心者ヲ誅シテ却テ其傳播ヲ急激ニシタルコト、其例ヲ今同ノ亂ハ、叛亂ト見做シタルナラ、カ其實狀ハ、宗教上ノ狂熱ト一方惡政ト、起因ストスレハ、首領ヲ誅シタルハ、甚宜シカラス、露政府ハ、彼ノ著名ノ、シエニバ、レフ將軍カ、中白細臣ヲ服スルハ、識ト火アルノミト云ヒ、言ヲ服膺スルニ似タリ、コレ從來ノ懷柔策ニ反スルモノナリ、今後益武クテ、以テ該地方ニ臨マハ、面徒得、レシ心服ハ望ム可ラス

一 近々又タ新編制ニ係リ、東部西伯利、但擊第十ニ聯隊ト、關東、平島

要塞砲兵第二師団に於ては旅順大連に向つて前者ノ第一大隊既
ニ到着セリト云フ此ノ大隊ハキエフ軍管區第三担撃旅團ノ
第九、十、十一、十二聯隊ヲ各一中隊宛テ取リテ編成シ要塞砲兵ニ
リテ芬蘭土管區ヨリ取リタルモノニテ今日中右十二聯隊ノ第一第二
大隊丈ヲ義勇艦隊汽船ハルツニ歸シ旅ニ出奔スル筈ナリ